

夕キ夕キッズプラザ 病児保育 だより No.6

5月発信

風がおる5月、季節のめぐりが少し速まり 汗ばむ日もあります。
4月の病児は、高熱が続くお子さんが多く利用されました。又耳下腺炎、水痘
も数人あり、保育者と安静室で、一週間近くすごされた方もみえました。

高熱が続く時は 水分補給に心がけてください。

脱水症状になり、肺炎になりますと危険です。
素人判断で見守るのは危険です。

小児科医の診察をうけお話を聞き処置を教えることが大切と思っています。
坐薬、点滴について 小児科医の診に耳を傾け 今、我が子にとって一番
望ましい処置はどのようなものかを聞いていきたいです。

※ 小児科医 は全身チェックをします。



女医先生のお話

5月は健康診断に各園各校へ行っております。
5月病といて、4月の新学期の疲れが表れる頃であり、
又、気温など不安定で、風邪をひきやすく、
体調も不良のお子さんが多いようです。
診察をしてもクオースの半数位、咽が赤いのです。
が、お熱がなければ、多少鼻水が出ていても、出勤
お校さしていただきます。この時期、登校拒否と間違われる
お子さんが、あります。「子供さんは、体調が良ければ」
登園、登校したいもの」という基本を、お大人は、知って
おいて下さい。「行きたくない」と、お子さんが、話されたら、
まず受診しましょう。病気なのか、精神的問題なのか、
区別してあげましょう。

